第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策2_文化を創造する人材を「育てる」		
	(3)文化芸術活動を支える人材の育成		
事業名	市民文化育成事業・アウトリーチ事業（若葉文化ホール） 特別支援学級サポートプログラム「パラステ3」		
実施主体	指定管理者	（名称）ちばアートウインド運営企業体	
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		（連絡先）245-5961(内)90-2526

【評価指標】

1	基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）
	<p>（目的設定の妥当性）</p> <p>事業内容はとても意味のあるものであるが、基本施策との間にズレが生じている。基本施策「文化芸術活動を支える人材の育成」という目的を踏まえ、今後、事業体系を検討していく必要があると考える。</p> <p>（目的の達成度、他の基本施策への波及）</p> <p>2次評価は実施主体の自己評価内容と同等</p>
2	戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、子ども・若者、領域の広がり）
	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3	事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）
	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
4	市民との関わり（満足度、周知度）
	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
5	効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）
	2次評価は実施主体の自己評価内容と同等

【提言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	☐ A：継続 ☒ B：改善 ☐ C：見直し
<p>※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載</p> <p>・本事業は障害を持った人たちに対し、アウトリーチにより文化プログラムを提供するという点においては、とても意味のある事業であると考え。今後、講師と受講生だけではなく、その間に様々な人に参加していただく枠組みをデザインしていくなど、「文化芸術活動を支える人材の育成」という目的を踏まえ、事業体系をもう一度整理していく必要があると考える。</p>	